

発行 放送大学北海道同窓会

発行責任者 中根 恵美子

発行日令和 8 年(2026)年 7 月 01 日(水)

URL: <https://ouj-dosokai.com/><https://hokkaidosokai.webnode.jp/>

会員数 265 名

令和 8(2026)年 6 月 30 日現在

放送大学 北海道同窓会会報

SNS が促すのは連帯か分断か―「共感」の二つの側面

放送大学北海道学習センター所長 山田 義裕



放送大学北海道同窓会は、昨年 20 周年という区切りの年を迎えました。今年また新たなスタートを切るにあたり、しばし立ち止まって、この 20 年ほどの社会の変化を振り返ってみましょう。20 年前、2000 年代の半ばに誕生し、いま私たちの日常生活に大きな影響を与えているものと言えば、ソーシャルメディア、特に SNS を筆頭に挙げる人が少なくないでしょう。日本で最も利用者が多い SNS アプリは LINE ですが、シニアも含めた幅広い世代で活用されており、このアプリをスマートフォンに入れていない人を探すのが難しいくらいです。今年度のモバイル社会研

究所のデータによると、LINE の利用率は 70 代シニアでも、なんと 80 パーセントに迫ろうとしているようです。

SNS はいつ頃、どのようなきっかけで普及し始めたのでしょうか。SNS はインターネットという情報通信基盤の上で動いています。インターネットは、その誕生当初から、マスメディアとは異なる分散的・協働的な新たなメディアを志向していましたが、現実には、2000 年代初めまでは同時双方向の通信を自由にできるような機能は備わっていませんでした。この状況を一変させるきっかけをつくったのが、オライリーメディアの創設者である Tim O'Reilly です。彼は 2000 年代半ばに、同時双方向通信を活用した集合知創出のための Web 2.0 という新たなウェブ・コンセプトを発表しました。そして、彼のコンセプトを具体化した Twitter (現在の X) や Facebook (現在の Meta) 等の SNS アプリが次々と開発されていきます。いまや、若い人も若き人もスマホ片手にコミュニケーションを行う時代になり、特にコロナ禍以降はオンライン・コミュニケーションが対面での交流を凌駕しつつあります。SNS アプリがなければ受けられないサービスも増え、スマホと SNS は今を生きる私たちにとっては必須アイテムです。

新たな情報メディアによる社会的サービスの向上は誰もが歓迎するでしょうが、ここで注意しなくてはならないのは、第一にこの情報メディア環境の変化のスピードであり、第二にそれがもたらすコミュニケーション様式の変化の根源性です。常時接続による匿名の

他者との同時双方向通信（いつでも、どこでも、誰とでも）というのは、私たち人類にとって初めてのコミュニケーション体験です。しかもこの新たなコミュニケーション様式への適応は、SNS が誕生してからわずか 20 年足らずの間に急速に進んだため、その本質的な意味、特に負の側面については、まだよく分かっていないのが現状です。

しかし最近になって、SNS の潜在的リスクが可視化され、メディアでも取り上げられることが多くなりました。SNS や YouTube 等の動画共有サイトを含むソーシャルメディアの急速な普及は、その手軽さとコンテンツの豊かさゆえに、私たちの日常生活を豊かにしてくれていますが、一方で、そのダークサイドも次第に明らかになっています。最も重要な問題の一つとして、よく指摘されているのは「依存性」です。ソーシャルメディアには、利用者を引き付けておくためのアルゴリズムが組み込まれています。例えば、YouTube のショート動画を眺めている人には、次々と「おすすめ動画」が提供されます。その結果、スマホの画面に釘付けになり、勧められるがまま延々と、自分用にカスタマイズされた一連の動画を見続けてしまうことになるのです。この依存状態が、とりわけ子どもの発育にとって重大な問題を引き起こすとの危機感から、オーストラリアでは昨年末に 16 歳未満の子どもに対して SNS の利用が禁止され、また欧州を中心に、いくつかの国で現在、SNS の利用制限についての議論が交わされています。

SNS の頻繁な利用が幼少期や思春期の子どもの成長に悪影響を及ぼすことについては、脳科学の研究等からもそれを支持する調査データが提示されています。ですので、思春期の子どもたちには迷惑この上ないことでしょうが、オーストラリア政府の規制方針にも一理あると考える人は少なくないでしょう。では、成人した私たちが利用する分には、自己責任のもと、どこまでも自由に利用することは許されるのでしょうか。私たちの知る権利や表現の自由は最大限尊重されねばならないのはもちろんですが、SNS による情報の送受信が人々の不安を煽り、社会に混乱をもたらすような場合には、倫理的観点から何らかの規制もやむを得ないでしょう。特に、近年目立ち始めたネット上のフェイクニュースの横行や、ヘイトクライムの引き金となるような特定の他者への誹謗中傷は、表現の自由などの権利を慎重に踏まえた上で、早急に対処すべき問題であることは言うまでもありません。

SNS という仕組みがはらむ社会的問題に切り込む前に、このコミュニケーションツールが世に出た際に、どのように社会に受容され、人々に活用されていったかを振り返ってみましょう。SNS は 2000 年代半ばに誕生し、その後急速に利用者数を伸ばしていきます。その社会的活用の例として、2010 年に始まる「アラブの春」を取り上げましょう。アラブの春をはじめとする中東地域の民主化運動に、2004 年にサービスを開始した Facebook が大きな役割を果たしたと言われています。アラブの春は、チュニジアにおける「ジャスミン革命」がきっかけで始まりました。2010 年 12 月、チュニジアで一人の果物売りの青年が当局の度重なる摘発への抗議のため焼身自殺しました。この事件に端を発する反政府デモは各地に拡大し、23 年間続いた独裁政権は、たった 1 ヶ月であっけなく転覆しました。この民主化運動は、エジプト、リビア、イエメン、シリア等のアラブ世界に次々に波及していききました。この一連の運動は、冷戦後、急速にグローバル化する世界において、軍事独裁政

権に代わる新たな民主体制による社会秩序の再構築が実現するかもしれない、と期待させるものでした。SNS を活用した同種の運動としては、2011 年にニューヨークで始まった Occupy Wall Street、あるいはここ日本において福島第一原発事故の翌年に始まった「あじさい革命」(2012) と呼ばれる反原発デモがあります。また、その少し後には、2014 年に起こった台湾のひまわり学生運動や香港の雨傘革命にも共通した特徴が見られます。これらの民主化運動の際立った特徴は、SNS によるオンライン・コミュニケーションが志を同じくする不特定多数の人々をつなぐ役割を果たしていることです。これらの民主化運動では、SNS がまさに人々の「連帯」を促すのに一役買ったのです。SNS を活用したこの種の運動が、グローバル化し流動化する世界において、地に足のついた安定した民主主義体制を新たに築ききっかけとなるのではないかと、2010 年から 2～3 年の間は、そのような希望を抱く人は少なくなかったように思われます。今思い返すと、私もそんな淡い期待を抱いた euphoric な人間の一人でした。

しかし、それから 10 年も経たないうちに、まさにこの同じ SNS がネット炎上を引き起こし、フェイクニュースの拡散に利用され、その結果、人々の対立や社会の分断を招いています。新たな形の連帯をもたらしてくれると期待された SNS が、なぜ社会を分断するメディアとなってしまったのか。実は、すでにインターネットの黎明期において、SNS の情報通信基盤であるインターネット自体が、人々を分断するリスクを内包したメディアであることが指摘されていました。憲法学者のキャス・サンスティーンは、2001 年出版の *Republic.com* (2003 年に『インターネットは民主主義の敵か』というタイトルで邦訳) において、インターネットが潜在的に持つ強力なフィルタリング機能が社会の分裂を生む可能性に触れています。このフィルタリングが有効に機能した場合、不要な情報は事前にフィルターアウトされ、好みの情報のみが自動的に手元に配信されるようになります。自分用にカスタマイズされた情報のみに囲まれ、趣味嗜好を同じくする者たちの意見や考えだけがこだまする状況を、彼は「エコーチェンバー」と呼びました。そして、エコーチェンバーがもたらす弊害の一つとして、「集団分極化 (group polarization)」を挙げています。集団分極化とは、「グループで議論をすれば、メンバーはもともとの方向の延長線上にある極端な立場へとシフトする可能性が大きい」という考えですが、インターネットのフィルタリング機能は、これを促進すると警鐘を鳴らしているのです。サンスティーンが四半世紀前に指摘したインターネットの潜在的リスクが、SNS という新たなメディアの普及によって具現化したのだと考えることができます。

SNS コミュニケーションは、今みてきたように、一方では人々の連帯を促すというポジティブな役割を果たしますが、他方では社会の分断を招くというネガティブな特性を合わせ持っています。SNS のこの相反する特性を「共感」をキーワードに考えてみましょう。

グローバル化の進展に伴い、多文化共生社会の構築が求められる中で他者への共感の重要性が唱えられています。この文脈において議論の前提となっているのは、共感というのは、他者への不寛容さを乗り越えるために不可欠な人間的資質として、疑いもなくよいものであるという考えです。共感という言葉がマーケティングや政治運動においても活用さ

れ、世の中「共感ブーム」の様相を呈するなかで、この前提をあえて疑う議論がいくつか出てきています。その代表がポール・ブルームの『反共感論』です。ブルームは、「私たちが個人として社会として直面する問題のほとんどは、共感の欠如が原因で生じるのではない。それどころか、過剰な共感が原因で生じる場合が多々」あり、「全体的に見れば、共感是人間の営為においてネガティブに作用する」と断言しています。彼がこの根拠として挙げているのは、共感の「スポットライト的性質」です。共感は「スポットライトのごとく今ここにいる特定の人々に焦点を絞る」という偏向した特性をもつため、私たちは身内を始め、身近な人たちの利益を優先し、自分とは疎遠な他者の苦しみには盲目になるのだと主張します。共感という認知機能は、そのスポットライト的性質ゆえに、共感の対象をチェリーピッキングしてしまうというわけです。先ほど SNS が連帯と分断の相反する特性をもつと言いました。ブルームの共感の議論を踏まえると、SNS コミュニケーションでは、趣味嗜好を同じくする仲間には共感の気持ちを抱きますので、それは「連帯」につながります。その一方で、

そのグループの外側にいる人たちはどうかというと、共感のスポットライト的性質のために、彼らには目が届かず、共感の対象から外れてしまうのです。このような共感の対象からの無意識的疎外は、共感グループの求心力が強くなると意識的な他者排除へと変わり、その結果社会的分断が進むことになります。ブルームが仮定する共感のスポットライト的性質を踏まえると、SNS の連帯と分断というアンビバレントな特性は、共感というコインの裏表の関係にあるということができるとでしょう。

SNS コミュニケーションにおいて、仲間への連帯が他者への排除へと容易に反転してしまうのはなぜでしょう。それは、SNS コミュニケーションの情動的な特性にあると思われる。SNS コミュニケーションでは、論理的な文章よりも感情に訴えかける短いフレーズが好まれます。また、言葉だけではなく絵文字やスタンプも頻繁に使われますが、これらは情動を刺激するのにより効果的でしょう。ブルームは、共感という認知機能は、実は二つに分けられると言います。認知的共感と情動的共感です。認知的共感とは、他者が何を考えているのかを理解すること、他者の立場に立って事態を把握する機能です。情動的共感とは、他者が感じていることを自分でも感じることで、つまり感情共有の機能です。この二つの機能は、それらを司る脳の部位も異なっており、全く別個の機能であるということです。さらに、ここが重要なのですが、先ほど説明した共感のスポットライト的性質は、もっぱら情動的共感のみに当てはまるという点です。SNS を使った情動的コミュニケーションが優位な状況では、情動的共感が刺激されることで、身近な仲間との連帯が強まる裏で、知らず知らずのうちに他者への排除も同時に進む可能性が常にあります。これに歯止めをかけるのは、SNS コミュニケーションが優位な環境ではなかなか難しいことです。一つ考えられる方向としては、もう一つのタイプの認知的共感が適切に機能するコミュニケーション環境を模索することでしょう。もっとも、アテンション・エコノミーが全盛の中で、認知的共感をベースにした理性的コミュニケーションを回復するというのは、そう簡単なことではないのですが。

「北海道学習センター近況」

放送大学北海道学習センター
事務長 山内 好子



昨年4月に着任しましてから、あっという間に1年が過ぎてしまいました。この間、研究発表会や卒業を祝う会など、同窓会役員のみなさまには、北海道学習センターのためにさまざまに心を砕いていただき、感謝申し上げます。

今年度1学期は、私も15年ぶりに放送大学生（科目履修生）になりました。欲張って2科目登録したのですが、つい先日の通信指導では、提出締切日の前日によく提出するという事態になり、働きながら学修することの厳しさを、身をもって体験したところです。

さて、最近の北海道学習センターは、若い学生さんの姿が多くみられるようになってきました。この3月の学位記授与式にも、20代の卒業生の方が出席者全体の20%弱占め、放送大学のニーズの広がりを楽しんでいます。

反面、放送大学の弱点であるのが「キャリア支援」です。これまでは、社会人のリカレント教育や上位資格取得、退職後の生涯学習を目的として放送大学に入学される方が多かったのですが、昨今では高校卒業後にストレートに放送大学に進学される方も増え、「卒業後の進路」が様変わりしてまいりました。若年学生の方のサポートの一助になればと、この2月に、若年学生の集いを開催したところ、話題の中心は自然と「就活」になり、先輩学生から熱心に情報を引き出そうとする後輩学生の姿を見ると、放送大学が後手に回ってきてしまったキャリア支援の弱さが露わになったと実感しています。

北海道学習センターでは、全国の学習センターの中でも、学生サポートに力を入れることを任務として、「学生支援拠点」に指定されました。さまざまな方面で、より良い支援体制が構築できることを目標にしておりますので、ご意見、ご要望があればお寄せいただけると幸いです。

北海道学習センター紹介：

<https://www.youtube.com/watch?v=GIGII->

[OGaKo&list=PLOVE9wWQ7mkuwkgb52nmY5ZutI5a7ybEU&index=8](https://www.youtube.com/watch?v=GIGII-OGaKo&list=PLOVE9wWQ7mkuwkgb52nmY5ZutI5a7ybEU&index=8)

「会員の皆さま!お元気ですか?」

放送大学北海道同窓会
会長 中根 恵美子



昨年度は青森県で震度6の地震をはじめ各地で地震や山林火災など台風被害など自然多発しました。被災されたみな様にお見舞いを申し上げます。

会員の皆さま、気候変動が体調に影響していませんか? 元気で学び続け生活するには体調管理必要ですね。毎日気を付けているとは思いますが、十二分に気を付けてくださいね。役員も楽しく元気でいつまでも皆さんに寄り添っていけるようにと体調に気を配っています。皆さま、お力をお貸しくださいね。

話は変わりますが、6月に同窓会連合会の定時総会に出席しました。

1日目は大学本部図書館の3階で開催され、全国から40名が出席、8同窓会がZoomで参加しました。同窓会連合会の主な行事は卒業パーティの場所の選定や運営にかかわる一切のことを神奈川、東京、千葉、埼玉などの同窓会役員の大きな負担で行っています。(北海道の役員は遠いのでコスパが合わないことからお役に立てないのが残念です)また、全国7ブロックに分けられた地区同窓会の交流会開催事業などと、大学との交渉や打ち合わせなどが活動報告・活動計画となります。続いて、これに伴う経費の管理、バッジ、Tシャツ販売など会計報告、予算案などの承認。役員任期が1年ごとでその承認と会則の改定などで通常総会が終了しました。

その後、学長、副学長、学生支援室の皆様が参加して学長講演がありました。学長は放送大学の活動状況と入学者数・在籍者数の傾向などを同窓会と共有し、寄付金の使い道や学生に若い人、特に高校生が増加したことや現在、87,107名の在校生となっていることなどを話され、今年度で退職すると話されました。

2日目も図書館3階での開催での全国の同窓会が一堂に集いそれぞれの情報を持ち合って意見交換をしました。出席者33名Zoom3名合計36同窓会でスタートしました。その中では放送大学で学び、地域社会に貢献している諸活動や、そのほかユニークな活動をしている学生や同窓生を紹介します。例えば、岩手同窓会では、地域の子供たちを見守る活

動や聴覚障害者との交流ボランティア活動をしています。福島同窓会では猪苗代湖の清掃活動をしています。また、茨城学友同窓会では、日本ミツバチ養蜂家である会員が、グループを作って日本ミツバチを守る活動をしているとの事です。香川同窓会「瀬戸内海の島ネット」を開催して、島の暮らしや昔の習慣などを学び、また、古代遺跡の見学会などもしています。島根ではユニークな活動や社会貢献活動をしている会員が多数いるとの事で、中でも、ラフカディオハーン顕彰団体「八雲会」の役員として活発に活動している方もいるとの事でした。その他各地の同窓生も知的好奇心が旺盛なせいか町内会やマンション管理組合の役員に引っ張りだこで、地域にとって重要な役割を担っているようです。

全国の放送大学生や同窓生の皆さまの活躍ぶりを知り、北海道の会員の皆さまも自己アピール、他者アピールで juukichi1949@gmail.com へご連絡くださるとありがたいです。皆さまよろしくお願いします。juukichi は 私の亡父の名、1949 は私の生年です。ぜひご連絡くださいね。また、「放送大学生私の履歴書」を募集していましたが、応募0名と不人気でした。応募があればその都度編集会議で掲載を検討させていただきますね。

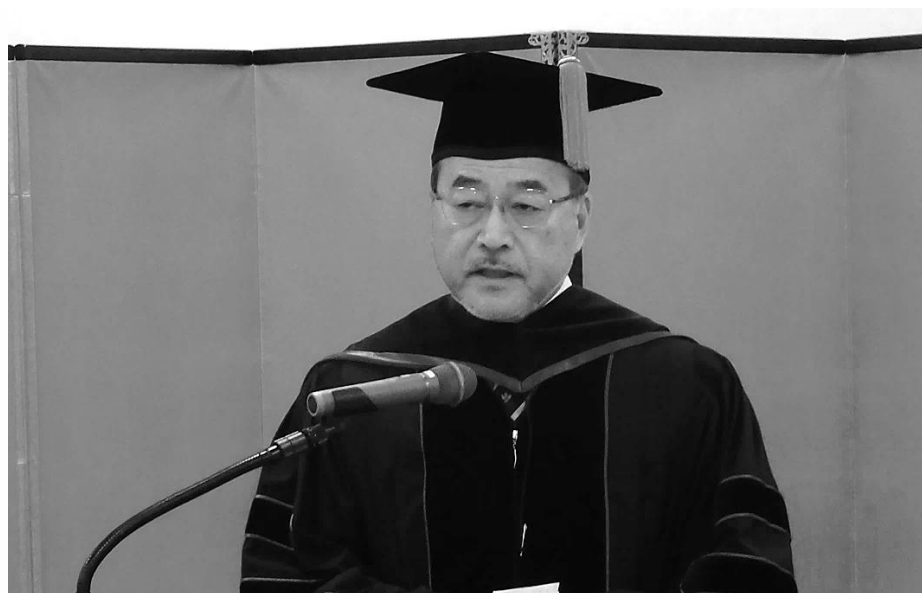
さて、本年度の文化祭は9月初旬に行います(33p～35p に記事あり)。またバザーも会員の皆さまのご協力をお願いしたいです。全国規模の放送大学学園祭やサークルのネットワークも出来上がりました。放送大学学生の活動もどんどん活発化しています。学籍を離れた方ももう一度学習センターに戻って活動しませんか？ 新しいことを始めると脳内伝達物質のシナプスの活動が活発化されアクティブな人生がより活性化するのでは？

前述の行事のほか、北海道同窓会の役員は会報発行年2回、卒業を祝う会開催年2回と定期総会開催を主な仕事とし、このほか北海道の海岸を日本一美しくしたいと海岸清掃に年間6回NPOに協力して活動しています。どこの場面でもよいので一緒に活動してみませんか？ 同窓会役員の活動に混ざってみてはどうでしょう。かでて（仲間に入れて）ほしい時は juukichi1949@gmail.com にメールか 090-2058-4453 にお電話くださいね。



令和 7 年度第2学期 学位記授与式

令和 7 年度第 2 学期の学位記授与式が、令和 8 年 3 月 28 日(土)午前 10 時から放送大学北海道学習センター 6 階で開催されました。



「祝辞」 ご卒業・ご修了、おめでとうございます

放送大学北海道学習センター所長 山田 義裕

本日お集まりの皆様、このたびは放送大学のご卒業・ご修了、まことにありがとうございます。皆様が晴れて学位記を授与されたことを心よりお祝い申し上げます。

今回ご卒業された方は、北海道学習センターで 184 名、旭川サテライトスペースが 22 名、合わせて 206 名でございます。また、北海道学習センターでは 5 名の方が修士課程を修了されました。放送大学では、さまざまなバックグラウンドをお持ちの学生が学んでおります。日々の忙しい生活の中で、それぞれのペースで勉学を進め、卒業・ご修了に係る所定の単位を修得してここまでたどり着いたことは素晴らしいことです。皆様の努力を称えたいと思います。また、勉学を支えていただきましたご家族や関係者の皆様にも、教職員を代表して感謝申し上げる次第です。

また、放送大学の 6 コースのうち 3 コース以上のコースを終えられて特別賞を得られた方々には、そのたゆまぬご努力に心より敬意を表したいと存じます。本当におめでとうございます。

放送大学には、高校新卒者から定年退職後に入学された方まで実に幅広い年代の学生が学んでいます。年代の多様性を反映するように卒業後の進路もさまざまで、大学院へ進学する方、別のコースで勉学を継続する方、学位の取得を機に社会で新たなキャリアを目指す方、あるいは初めて社会人となる方もいらっしゃるかもしれません。卒業後に皆様がご自分で選んだそれぞれの道を歩みながら、充実した人生を送ることを心より願っております。

さて、学位記授与式の所長式辞では毎年、皆様への餞の言葉の代わりに、私たちの社会が抱える課題のひとつに焦点を当ててお話をしております。今年度は「戦後 80 年」、昭和 100 年という節目の年にあたりますので、「記憶」をテーマにお話をさせていただきます。

1945 年のポツダム宣言受諾から 80 年目を迎えて、昨年の夏には戦没者慰霊祭をはじめ各地で様々なイベントが開催され、またマスメディアでも戦後 80 年の特集企画が組まれました。その多くで、「記憶の継承」がテーマとなっています。戦争経験者を起点にすると、すでに三世代分の時が経過しており、体験の聞き取りができるチャンスも残り少なくなっています。そういう中で、戦争の記憶に関して、何をどのように後世に伝えていくのかが、残された時間の中で切迫した課題になっています。今日は、戦争の記憶の継承について、私たちが後世に伝えなくてはいけないのは何なのか、という問題を皆さんと考えてみましょう。

日本社会が戦争を回顧する際に、何に焦点を当ててきたかについては、その代表例と思われる 8 月の戦争・平和報道、いわゆる「8 月ジャーナリズム」を参照するのがよいでしょう。メディア研究者の米倉律さんは、8 月ジャーナリズムにおけるナラティブの類型化を試みています（米倉 2021）。彼はその作業を通じて、被爆体験者や戦地に赴いた兵士たちの犠牲を中心とした「受難の語り」が圧倒的に優位であることを見つけ出しました。そして、その分析を踏まえて、「尊い犠牲を礎に廃墟から立ち上がり平和と繁栄を手にしたという『建国神話』」（米倉 2023）が日本社会の「集合的記憶」となったのだと主張しています。このような建国神話がひとたび集合的記憶として共有されると、それは戦争体験者にとっては、ある意味で抑圧的に作用することがある点に留意する必要があります。戦争の記憶は、被害の記憶であれ加害の記憶であれ、体験した本人にとっては意識の底に沈めておきたい辛い思い出でしょう。彼ら・彼女らが、戦後の経済復興の中でリアリティを獲得していった建国神話を頼みに、自分自身の体験に沈黙を貫いたとしても、それは至極当然なことであったと思われます。彼ら、彼女らに取って沈黙こそが、ある意味「自衛」の手段なのですから。

ただ散発的にですが、8 月ジャーナリズムにおけるナラティブを相対化するような自己物語が、建国神話の周縁で生きてきた戦争体験者の口から語られることがないわけではありません。マスメディアが殆ど取り上げない「日陰の受難者」たちに光を当て、彼らの声を集

めたドキュメンタリー映画が昨年何本か公開されました。その中で、昨年 90 歳になった朴壽南（パク・スナム）さんと娘の朴麻衣（パク・マイ）さんが共同で監督したドキュメンタリー映画「よみがえる声」に触れたいと思います。

朴壽南さんはもともと文筆家でしたが、ある理由で 40 年ほど前にドキュメンタリー映画を撮り始めます。それ以来、在日一世の証言を撮り続けた映像フィルムは 10 万フィート（50 時間分）にものぼります。「よみがえる声」という映画はそのフィルムを復元する中で制作されたものです。札幌ではまだ未公開なのですが、私は昨年 10 月に開催された山形国際ドキュメンタリー映画祭で、この映画がクロージング作品として上映された際にたまたま山形に滞在しており、幸運にも観る機会に恵まれました。

このドキュメンタリー映画におさめられているのは、広島・長崎のコリアン被爆者、長崎の端島に強制動員された東アジアの人々、沖縄戦の朝鮮人軍属、そして戦場へ連行された「慰安婦」たちの姿と、彼ら彼女らの証言です。証言は、過去の隠された出来事を、その背景も含めて詳らかにする場合もあれば、途切れ途切れの断片のこともあります。さらに、カメラの前で押し黙る姿も、明晰な証言に優るとも劣らぬ雄弁さで観る者に迫ってきます。

朴壽南さんが 40 年前にペンをカメラに持ち替えた理由、それはこの映画の英語タイトル”The Voices of the Silenced” が暗示していますが、「沈黙（silence）」です。彼女の話では、広島で、あるいは沖縄で、被害にあった人たちから証言を得ようとマイクを向けても、ただ押し黙ったままということが何度となくあったそうです。この体験を繰り返す中で、彼女はまさにこの沈黙にこそ意味があると確信し、圧倒的な暴力の前で尊厳を踏みにじられ、言葉を奪われた人（the silenced）たちの呻きや沈黙をカメラにおさめようとした。

「よみがえる声」の中の「証言」、さらに「声なき声」は、日本社会の中で「建国神話」として共有されている大きな物語を相対化する力を持ちます。一例として、端島の労働に動員された東アジアの人々の証言を取り上げましょう。端島は「軍艦島」の名で知られていますが、2014 年に「明治日本の産業革命遺産」のひとつとして世界文化遺産に登録されました。その後、一時期観光客数が落ち込みましたが、最近ではテレビドラマ「海に眠るダイヤモンド」の影響もあり、聖地巡礼の観光客で賑わいを取り戻しているようです。ただ、世界遺産にもドラマにも罪はないのですが、軍艦島が日本の高度経済成長期の物語として語られ、社会がそれを無批判に受容し続けるとしたら、その背後に隠れている厳然たる事実はいっしょに忘れ去られてしまいます。この映画の中で、かつて東アジアから動員された炭鉱労働者たちが、端島における自分たちの労働・生活環境がいかに劣悪なものであったかを語っています。ここで彼らの言葉をひとつ一つ紹介することはできませんが、映画

の中で語られる彼らの証言には、軍艦島をめぐる偏った成長の物語を相対化し、ともすれば私たちが無批判に受け入れてしまいがちな戦後の建国神話を、あらためて問い直す力があるのではないのでしょうか。

マスメディアが主導してきた8月ジャーナリズムは、長崎新聞の「私の被爆ノート」のように被爆者の証言を30年近くにわたり丹念に集めて公開している貴重な試みは確かにあるものの、記憶の継承自体が自己目的化するなかで、次第に形骸化していると指摘する声も少なくありません。「記憶の継承」や「平和と繁栄」というあたりさわりのないスローガンが、私たちの目を戦争の実像から逸らせてしまう可能性に自覚的でなくてははいけません。戦後80年を期に、「建国神話」からこぼれ落ちた人たちの声を集める努力こそが必要ではないのでしょうか。様々な形で戦争を体験した人々やその家族、それぞれが発する、矛盾を孕まざるを得ない多様な声を私たちの記憶として束ね、いわばポリフォニック（多声的）な記憶として後世に伝える努力を地道に重ねることが重要であると考えます。

今回は記憶、特に戦争の記憶の継承についてお話ししましたが、皆様が卒業後もこういった社会のアクチュアルな問題のどれか一つにでも関心を持ち続け、世代を超えて協力して取り組むことを大いに期待し、それを私からのお祝いの言葉に代えたいと思います。

本日はまことにありがとうございます。

令和8年3月28日 学位記授与式の様子



※ 個人情報管理の都合上、学位記授与の様子や集合写真などの掲載は控えました。

※学位記授与式のあと、「修了・卒業を祝う会」を開催しました



学習センター6階の大講義室にて、修了生・卒業生・役員・来賓を含め42名ほどで始まりました。主催者の同窓会会長の挨拶に続いて、来賓の山田所長と山内事務長からご挨拶をいただきました。お二人はこの後、旭川での学位記授与式にむけ出発なさいました。



歴史ある学生サークル「うたの会」の皆さん

からお祝いの歌のプレゼント

「放送大学学歌」「放送大学北海道学生賛歌」「交響曲第9番 歓喜（よろこび）の歌」「故郷」「蛍の光」などで、門出を祝っていただきました。



20年間歌の会を指導し本日をもって引退なさる長谷部美恵先生と、長く学習センターで親身に生徒の支援をしてくださっていた加福千秋様が退職なさるので花束を贈呈しました。

いつもありがとうございました！！　そしてお疲れさまでした。



修了生・卒業生より、北海道学習センターへ記念品贈呈

修了生・卒業生を代表して大原美奈子さんが図書寄贈目録を贈呈しました。



ご歓談の様子

懇談タイムは、学友会会長の乾杯の音頭で始まりました。出席者全員にひとことスピーチをしていただきながら、楽しく頑張った学生生活をみんなで共有します。



ご卒業・修了された皆様から寄せられた喜びの「ひとこと」です

《心理と教育コース》 江別市 Sさん

放送大学で、学ぶ事が出来た事、家族の協力と励ましがあつた事が私にとって大きいと思います。ありがとうございます。また多くの世代の方が学ばれている事、何よりも限界はない、自分がどうしたいか、どうなりたいか、学ぶ事に終わりはないという事、肌で感じる事が出来、その事がはげみになりました。これからも知りたい 学びたいという気持ちを大事に、色々な事にチャレンジしていきたいと思います。

放送授業、面接授業でお世話になった先生方、ありがとうございます。

《心理と教育コース》 札幌市 Kさん

高校時代に身体の不調で転校を経験し、通信制に出会いました。大学入学までに回復はせず、一般的な全日制の大学は通える状況ではありませんでした。身体の回復を第一優先とし、通信制である放送大学を選び5年間で卒業する事を目標としました。

卒業した今考えると、通信制の自由さの利点を最大限に活かし、日中のアルバイトや別の学校へ通い資格取得、地方への居住と様々な場所・時間で勉学に励むことができた5年間でした。社会人になっても勉強するタイミングで利用しようと思います。

《自然と環境コース》 千歳市 Sさん

この度は3コース目の卒業となりました。入学時は健康面に大きな不安を抱え、悩みながらのスタートでした。時には入院先から面接授業に出席。また骨折した腕をギブスで固定して単位テストに挑んだり、そしてコロナ禍の時はデジタルの授業についていけず心が折れそうになったこともありましたが、今となってはすべてが心の財産となっています。

今は諦めず学び続けた自分を褒めてあげたいです。これからも応援してくれた家族への感謝を忘れずに学び続けます

《心理と教育コース》 札幌市北区 Hさん

高校を卒業し、そのまま放送大学へ入学しました。ですが、漠然とした不安を抱えていました。でも、放送大学での学習やさまざまな年代の方々と交流する場面がたくさんあり、多くの刺激を受けました。とくに若者交流ができる機会がありとても感謝しています。人との関わりの大切さを改めて実感し、今後も素敵な出会いを大事にしていきたいです。

《情報コース》 幕別町 Mさん

過去に他の大学を中退し、一度は大卒資格の取得を諦めた私でしたが、帯広コア専門学校の協力もあって放送大学で大卒資格を得ることができました。

長い道のりではありましたが、やり遂げられて良かったと思っています。

※本コーナーは「ひとこと集」から抜粋させていただきました。

自分の息子を「おにいちゃん」と呼ぶのはどうしてか？

——親族名称の使用と話者の視点——

私たちが自分を指し示したり人に呼びかける時には、「わたし」や「きみ」等の人称代名詞を使ったり、「真美ちゃん」や「小林君」などの固有名詞を用います。日本語には、これに加えて、家族関係をもとにした呼び方があります。父親に「おとうさん」と呼びかける場合や、姉を「おねえちゃん」と呼ぶようなケースです。言語学ではこれらを「親族名称」と言いますが、日本の家庭においては、自己を表現したり、相手に呼びかけるときに親族名称を用いることは、ごく普通に観察される言語現象です。

私たちは、家庭における日々の言葉の使用において、この三つの呼称（人称代名詞、固有名詞、親族名称）を特に意識せずに用いていますが、この三つを使い分ける基準のようなものはあるのでしょうか。また、親族名称の使用には、自分の息子を「おにいちゃん」と呼ぶような、一見すると理屈に合わないような現象もあるのですが、こうした用法はどのように説明できるのでしょうか。

このような日本語の呼称に関する興味深い現象は、言語学者の鈴木孝夫が50年以上前に詳細に分析し、そこから重要な一般化を導き出しています。この講演では、鈴木の子供語の呼称についての議論を紹介したうえで、彼の一般化を「話者の視点」という視点論の観点から再評価し、さらに掘り下げて考えてみます。

1 はじめに

- (1) 視点 (viewpoint) とは何か
物や人や事態を眺める時の見る人の立場。

1.1 視覚認識における視点の重要性

- (2) 視覚システムの単一視点の特性
私たちが出来事や事態を眺める時、視点つまりカメラアングルは一カ所に固定されるのが普通である。
(知覚の「スナップショット・モデル」(snapshot vision))*¹
- (3) 錯視 (visual illusion) と視点
- a. Rubin vase
 - b. Wittgenstein's rabbit-duck illusion
 - c. Necker Cube
- (4) 「多視点」の絵画技法 *²
キュビズムの絵画、パブロ・ピカソの「アヴィニョンの娘たち」

2 言語使用と話し手の視点——視点現象と共感度理論

(5) 本日の講演の目的：

「視覚システムの単一視点の特性」を踏まえて、「視点」、特に「話し手の視点」がことばの使用にも興味深い形で影響を及ぼしていることを日本語の「親族呼称」の使用を例に考える。

(6) 本講演で取り上げる言語現象（視点現象、直示表現^{*3}）

a. 日本語の授受動詞：

やる/くれる

b. 日英語の移動動詞と指示語（demonstratives）：

行く/来る/これ/それ/あれ、come/go/this/that, etc.

c. 日本語の呼称（address terms）：

ぼく、きみ、お母さん、先生

2.1 言語使用に関する視点の重要原則——視点の一貫性の原則

(7) 視点の一貫性の原則

話し手の視点は一つの文において一貫していなくてはならない。^{*4}

2.2 日本語の授受動詞の使用を例に

(8) 日本語の授受動詞（やる-くれる）

a. 太郎が花子に本をやった。

b. 太郎が花子に本をくれた。

(9) a. うちの太郎がとなりの花子に本をやった。○

b. うちの太郎がとなりの花子に本をくれた。×

c. となりの太郎がうちの花子に本をくれた。○

d. となりの太郎がうちの花子に本をやった。×

(10) 三つの視点（：「話者の視点」）

太郎 ⇒ 本 ⇒ 花子



(11) 仮説1：授受動詞（やる-くれる）の特性

a. 話し手の視点が与える人（主語）にある場合：やる

b. 話し手の視点が受け取る人（与格目的語）にある場合：くれる

c. 話し手の視点が中立の場合：やる

- (12) 仮説 2 : 「うちの X」 vs. 「となりの Y」

「うちの X」と「となりの Y」が文中に共起している時、話し手の視点は「うちの X」に置かれる。

- (13) (9a) vs. (9b) (「やる」は○、「くれる」は×)

うちの太郎 ⇒ 本 ⇒ となりの花子



- (14) (9c) vs. (9d) (「やる」は×、「くれる」は○)

となりの太郎 ⇒ 本 ⇒ うちの花子



3 日本語の家族の呼称と視点の移行——鈴木 (1973) の親族名称の研究から

- (19) 日本語の人を表すことば——呼称と自己表現

- 人称代名詞
- 固有名詞
- 親族名称 (家族・社会の関係表現)

3.1 日本語の呼称の使用——対称詞と自称詞の使用について

- (20) 日本語の家族の呼称の基本原則 (鈴木 1973:149)

自分を基準に相手がそれより上か下か、つまり目上と目下という対立概念に基づいて呼び方 (人称代名詞・固有名詞・親族名称) を変える。

3.2 家族の呼称の一般的パターン

3.2.1 対称詞の使用 (相手を呼ぶ場合)

- (21) 目上に対して

人称代名詞 (あなた、おまえ) : ×

固有名詞 (太郎、山田) : ×

親族名称 (お父さん、お姉ちゃん) : ○

- (22) 目下に対して

人称代名詞 (あなた、おまえ) : ○

固有名詞 (太郎、花子) : ○

親族名称 (妹ちゃん、娘ちゃん) : ×

3.2.2 自称詞の使用（自分を指す場合）

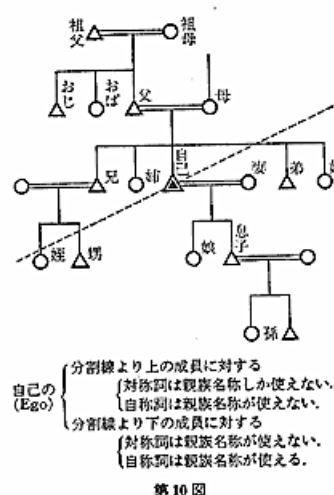
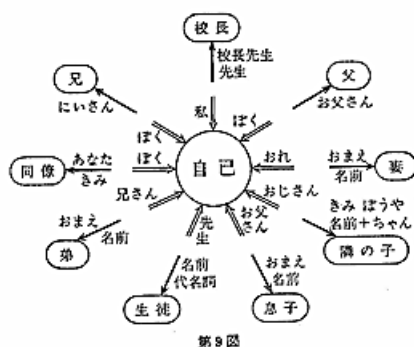
(23) 目上に対して

- 人称代名詞（私、僕）：○
- 固有名詞（太郎、花子）：○
- 親族名称（娘、弟）：×

(24) 目下に対して

- 人称代名詞（私、僕）：？
- 固有名詞（太郎、花子）：×
- 親族名称（お父さん、お姉ちゃん）：○

(25) 鈴木 (1973: 148, 150)



自己の (Ego) { 分割線より上の成員に対する
対称詞は親族名称しか使えない。
自称詞は親族名称が使えない。
分割線より下の成員に対する
対称詞は親族名称が使えない。
自称詞は親族名称が使える。

3.3 日本語の親族名称の使用に見られる視点の移行

(26) 日本語の親族名称の使用における話し手第一視点の原則（予備的仮定）

日本語の親族名称の使用は、基本的には話し手第一視点の原則に従う。つまり、親族名称を用いる場合は自分自身の視点から見た関係を示す表現を用い、自分以外の人の視点を通して見た親族名称の使用は、一般的には不自然である。

(27) 他者の視点を借りて親族名称を使用することの不自然さ

- a. *子供が父親の視点を借りて、祖母を「おかあさん」と呼ぶ
- b. *子供が遊びに来た母親の妹の視点で、母を「おねえさん」と呼ぶ

(28) 話し手第一視点からの逸脱の事例

…私の乗っていた国電山手線が、新宿駅に着いた時のことである。車内の乗客のほとんどが降りて、席がガラすきになったと思うや、どっと新しくお客が乗り込んできた。私の隣に足早にかけより席を占めた老婦人が、自分の側の座席を掌でたたきながら、「ママここにいらしゃい」と怒鳴ったものである。すると乗客の中から、赤ん坊を抱いた若い娘が現れて老婦人の側に座った。明らかに、母親が娘をママとよんだのである。… (鈴木 1973:167)

(29) 話し手第一視点の他の逸脱例 (対称詞のケース)

- a. (母が長女に) : 今日のお昼ごはんの用意はお姉ちゃんにお願いするね。
- b. (太郎の母が自分の父に) : 太郎がおじいちゃんと遊びたがっているんだけど、今おじゃましていかしら。

(30) 親族名称の第二の虚構的用法 (鈴木 1973:171)*6 *7

鈴木 孝夫. ことばと文化 (岩波新書) (p. 139). (Function). Kindle Edition.

- a. 日本の家族内で、目上の者が目下の者に直接話しかけるときは、家族の最年少者の立場から、その相手を見た親族名称を使って呼びかけることができる。
- b. 目上の者が目下のものを相手として話す時、話の中で目上が言及する人物が、相手より目上の親族である場合に、話し手はこの人物を自分の立場から直接とらえないで、相手つまり目下の立場から言語的に把握する。

(31) ((30b) の実例として) 「円地文子の『女坂』の中で、白川倫 (とも) という名の女主人公が、秘書役をつとめる甥に対して、自分の夫を叔父様と称している所を見てみよう。《どうもありがとう。このごろはお前さんに書いて貰えるんで大きに楽が出来る。こういう書面は女の私ではどうにもならないし叔父様 (白川のこと) はこんな面倒なことは一切お嫌いだから…》」 (鈴木 1973 : 142)

(32) 視点の移行の一方向性 (目上への視点の移行は NG)

- a. (姉が弟に) : 今度の日曜日、お姉ちゃんと動物園に行こう。
- b. (弟が姉に) : このおもちゃ、弟ちゃんにかしてちょうだい。→×
- c. 子供が父親の視点を借りて、祖母を「おかあさん」と呼ぶ→×
- d. 子供が遊びに来た母親の妹の視点で、母を「おねえさん」と呼ぶ→×

4 視点の移行の認知的基盤

(33) 他者への視点の移行の認知的基盤

直示表現の一見論理に合わない使用は、「聞き手」や「第三者」への視点の移行を仮定することで説明が可能となる現象がある。では、視点の移行の仮説を支持するような認知的・生物学的な根拠はあるのだろうか。認知心理学分野で進められてきた「他者視点取得」や「心の理論」に関する研究がそのヒントを与えてくれる。

注

- *1 宮崎・上野 (1995:4-9) を参照のこと。
- *2 ピカソの描くキュビズム的人物画（目は二つで正面を向いているが、鼻は横向き）は、私たちの「単一視点」の視覚システムの特性を逆手にとった「多視点」の絵画技法である。
- *3 直示性 (deixis) : 発話の行われる場面との関連においてのみ了解がなりたつような言語表現の性質 (三省堂英文法辞典)
- *4 Kuno(1987) ではEmpathy (共感) という概念を用いて、この原則を次のように述べている。
Ban on Conflicting Empathy Foci: A single sentence cannot contain logical conflicts in empathy relations.
- *5 Kuno(1987: 212) では、これは“Speech Act Empathy Hierarchy” (発話当事者の視点ハイアラキー) と呼ばれている。
- *6 普通言われる親族名称の虚構適用法とは、血縁関係のない他人に対して親族名称を使うケースである。例えば、若者が自分とは血縁関係のないお年寄りに「おじいさん」や「おばあさん」と呼びかけるような場合である。また、第二の虚構適用法をoikonymyという概念を用いて分析する試みについては鈴木(1998) 所載の論文「テクノミニー(tekonymy) という概念について」を参照。
- *7 鈴木(1973: 139) は、「子供の立場、子供の視点へのこの歩みより」を「共感的同一化 (empathetic identification) と呼んでいる。

参考文献

- Fillmore, Charles (1997) *Lectures on Deixis*. CSLI Publications.
- 国広哲弥 (1985) 「言語学道場」『言語』第 14 巻第 3 号、大修館書店、東京
- 久野暲 (1973) 『日本文法研究』大修館書店
- 久野暲 (1978) 『談話の文法』大修館書店
- Kuno, Susumu (1987) *Functional Syntax: Anaphora, Discourse and Empathy*, The Univ. of Chicago Press.
- Lyons, John (1977) *Semantics: Volume 2*. Cambridge University Press.
- 宮崎清孝・上野直樹 (2008) 『視点』(コレクション認知科学 3) 東京大学出版会
- 大江三郎 (1975) 『日英語の比較研究——主観性をめぐって』(不死鳥英語学叢書) 南雲堂、東京
- 鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』岩波新書
- 鈴木孝夫 (1996) 『教養としての言語学』岩波書店、東京
- 鈴木孝夫 (1996) 『鈴木孝夫 言語文化学ノート』大修館書店
- 田窪行則 (編) (1997) 『視点と言語行動』くろしお出版
- 山田義裕 (1999) 「言語伝達と指示表現—指示詞と呼称の用法をめぐって—」『言語文化部研究報告叢書』(北海道大学) Vol.36, 245-259. *The Northern Review* Vol. 31, 47-61.
- 山田義裕 (2003) 「生成文法と語用論—共感度研究の再評価—」 *The Northern Review* Vol. 31, 47-61.

令和 8(2026)年度 第 22 回定期総会 開催

5月16日（土）午後3時00分から放送大学北海道学習センター6階会議室にて第22回放送大学北海道同窓会 定期総会を開催しました。

司会は幹事の大内須美子が努めました。中根恵美子会長の挨拶後、山田義裕所長、山内好子事務長、石川嘉保学友会会長からご挨拶をいただきました。次に、総会に出席できなかった会員からの葉書を代読しました。文面から会員皆様の近況を察することができました。それぞれの形で学び続けていることを共有し、勇気づけられました。

続いて、同窓会会則第12条第1・2項に基づき会員 265名・本日の出席役員は7名で出席会員は13名・欠席委任状 86名で、委任状を含む出席会員数が出席役員数以上となり本総会は適正に成立することを報告しました。熊谷寿二幹事が選ばれて議長席につき、議事に入りました。第1号～第3号議案（令和7年度事業報告・会計収支決算報告・会計監査報告）、第4号～第5号議案（令和8年度事業計画案・会計収支予算案）、いずれも承認可決されました。第6号議案（役員選任の件）として副会長を2名とする案が承認され、鈴木副会長に加えて熊谷幹事が新副会長に選任されました。

議長は議事のすべてが終了したので閉会を宣して終了しました。定期総会終了後、懇親会を JR 札幌駅北口の居酒屋にて11名参加で開催しました。自己紹介に始まり、学びきっかけや大学行事やサークル、学びと両立してきた生活についてなど情報交換に花が咲き、楽しくて有意義な時間を過ごすことができました。



「定期総会承認書類」は別冊にして 同窓会会員のみにも同封いたしました

役員就任 挨拶

「同窓会副会長として」

放送大学北海道同窓会幹事・副会長
熊谷 寿二



昨年同窓会に入会すると同時に幹事として一年間同窓会活動に関わらせていただきました。私は定年退職後に選科履修生として社会学と出会い、都市社会学という領域で学びを深めたく大学院を受験し昨年修士課程を修了しました。現在は博士後期課程で引き続き学びを続けています。放送大学では、多岐にわたる分野の経験豊かな講師陣による充実した授業が提供されており、年齢を問わず学び続けることができる素晴らしい環境がととのっていると思っています。

修士を修了したことをきっかけに、放送大学の同窓会の仲間に加えていただき、なおかつ幹事という大役をいただき、微力ではありますが同窓会と北海道学習センター、そしてそこで学ぶ仲間のお役にたてればと思い、役員メンバーの諸先輩方と同窓会活動に携わらせていただきました。

今回、長年ご尽力いただいております、中根会長、鈴木副会長のお役に少しでもたつことができればと思い、副会長として同窓会活動に関わらせていただくことになりました。同窓会の先輩方の学び続ける姿と、同窓会への熱意に少しでも近づくことができるように努力したいと思います。

今まで放送大学での体験で得られたことを、これからの学生の皆さんに少しでもお伝えすると同時に、諸先輩はもとより新たな若い同窓会の皆さまとともに北海道同窓会の活動を、いまよりいっそう広げていくことができるよう努めさせていただきます。

皆さんのお役にすこしでもたてるよう努力しますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひすると同時に、同窓会の皆さまがサポーターや役員として参加し一緒に活動をしていただくことをお願いしてご挨拶とさせていただきます。



第13回 紙 上 同 窓 会

1

札幌市 長谷部会員

歳には勝てませんが、負けてもいられません。健康に留意して生きています。

帯広市 木幡会員

老化 加速中です。

札幌市西区 菊池会員

日々 汲々として暮らしています。

札幌市厚別区 小林会員

同窓会役員の皆様 いつもありがとうございます。

子育てが終わり、親の介護の時期になってきております。

深川市 山西会員

よろしくお願いします。

札幌市 福田会員

定期総会の準備お疲れ様です。

同窓会誌をいつも楽しみに読ませていただいております。

札幌市西区 中根会員

苫小牧の岡田会員が作詞して長谷部美恵先生(前うたの会指導者)が作曲した道放
大生賛歌を、学生サークルうたの会で約20年間歌い続けています。例会で年12
回、卒業を祝う会年2回、文化祭1回20年間で300回以上歌い練習も含めたらそ
れ以上になります。全国の学習センターでも持ち歌を持っているのは北海道学習セ
ンターだけです。この歌は牧野元同窓会長が歌詞を募集し、曲を募集し、出来上が
った歌を学習センターに寄贈したものです。

それをうたの会は歌い続けています。修了生、卒業生、新入生、そして自分自身
のために。誌上同窓会でなぜ私が話しているのか?「生きるのは学ぶこと」と歌い
ながら、私も老化が加速中です、「同窓生の岡田さんが書いた素晴らしい歌だよ」
などの事が、私がいなくなったら、このようなことも忘れられてしまうのではない
かと心配で、毎日健康に気を付けて元気で長生きしようとしています。

苫小牧市 岡田 会員

役員の皆様 いつも有難うございます。

帯広市 横山会員

いつも御連絡ありがとうございます。いつか出席してみたいと思いつつ、フルタイム勤務で、時間的にも余裕なくて毎回欠席となっています。

出席できる日を楽しみに。

札幌市東区 濱田会員

この度は、総会等のご案内ありがとうございます。あいにく先約があり欠席させていただきます。

あいかわらず、孫の世話や家事をやっておりますが、最近は整形外科通院がプラスされて自分の体の修理にも忙しくしています。

札幌市東区 杉山会員

昨年夏、妻を亡くしました。

小生は心臓弁膜症にかかり、高齢（92歳）であり手術もできないため、静養中です。それでも好きな英語は相変わらず NHK の「英会話」をテキスト使って続けています。月に1回の「句会」に出席する外は、気の合う友人達とたまに会食しています。早ければ5月下旬に「平岸」へ移転の予定です。

以上

札幌北区 廣鮎会員

総会のご案内をいただきありがとうございます。ハガキが入っておりませんでしたので、このハガキで返信いたします。総会当日は所用があるため「欠席」いたします。会費につきましては昨年に2029年分まで納入済みです。

近況 すっかり雪がとけた我家の花畑を見て、今年も雑草との戦いが始まるのかあ…と思っているところです。雑草抜きをしても、1週間もするとまた生えてくる、そのたくましさに感動するとともに、原野だった北海道を開拓し、広大な畑にした先人たちに敬意を表する日々が始まります

小樽市 前田会員

ご案内の演題 日本語の「呼称」興味深いです。

札幌市手稲区 池田会員

卒業後は選科履修生として学んでいます。

PCのExcelで学習したい部分があり、今パソコン教室にも通っています。

札幌市北区 福島会員

総会には一度も出席しておりません、大変申しわけありません。

私の放送大学修士卒業は2011年3月、あの東北大震災のとき、NHK港区神南のホールでの卒業式が直前で中止。知り合いのつてで帝国ホテルに部屋をとり、実家千葉県印西市在住の親とも会う予定をたてていました。結局北大（高等教育センター6F）放送大学で証書を受け取りましたが、今回は是非と思いましたが、15日～東京に行くため残念です。次回（来年？）は伺いたいと思っています。

札幌市北区 金子会員

前略、ご無沙汰しています。

近年、股関節、ヒザの半月板損傷等手術が続き、腸腰筋腫分離手術を行うなど、動作不自由な有様です。リハビリを行っていますはまだ不自由な状態です。

札幌市手稲区 大橋会員

今回、他の同窓会の総会と重なり、欠席させていただきます。

この近年、世界情勢が大きく変化しております。国々の対立や自国優先の考えからの戦争などで、日本も一挙に物事が方向転換させられております。エネルギー政策の変換と石油関係の輸入と関連製造業には、私達においても大きな打撃です。特に、北海道の北国は、灯油問題です。これ以上、不足・高騰などすると、死活問題です。この不安を解決するには、どうしたら良いか、最善策が何であるか思案するのみです。

放送大学生・同窓生として、今、出来ることは何でしょうか。身近な学生・同窓生同士、オンラインでの全国の学生・同窓生同士の話し合いを通じて、良い案を手繰り寄せたいと思う日々です。

旭川市 田中会員

水泳を初めて5年になりました。最近「自分の泳ぎを見つけるための旅」を感じるようになりまして、一生の趣味となりそうです。

札幌市 林会員

会長含め役員の皆様いつもありがとうございます。

学び続けることは、簡単ではありませんが、又、時間を見つけて学び直し出来たらと思っています。皆様、どうぞご自愛ください。

釧路市 名塚会員

早いもので大学卒業してから 10 年以上すぎました。楽しい学びの時間でした。「看護学修士」も取得することができましたし、その分も活動の巾を広げることができました。この度体調を崩したのを機会に周辺整理をしております。放送大学もこの機会に同窓会より卒業いたします。

長い間ありがとうございました。

益々の発展を祈念しております。

石狩市 森会員

長らく御無さたいたしています。参加して皆様と交流をしたい所ですが、数年前より体調が悪く参加できず残念です。

放送大学がもっと世の中に認められ、広く親しまれるよう願っています。

札幌市 松橋会員

ご無沙汰をしております。現在私は福祉施設にて勤務しております。日々格闘というハードさです（暴力という意味ではなく）。勤務の都合により、私の当日参加は叶いませんが、定期総会、懇親会のご盛会を祈念申し上げます。

北斗市 高橋会員

昨年度は転勤をして慣れない環境で 1 年ががんばりました。そして、今年度いっぱい、30 年近くつとめた仕事を早期退職するつもりでいます。毎日のように早朝 3:00 から起きて、仕事の持ち帰りをこなしていましたが、一旦、その生活をやめて、ゼロになってみようと思っています。

やめて、何をするかは全く考えていませんが、ゼロになってから見つけようと思います。知らない街に住んでみようかと考えましたが、道民はやはり道民魂が宿っており、北海道からは出られないかな(笑)

札幌市中央区 小原会員

なかなか参加出来ず申し訳ありません。

いつも お知らせをありがとうございます。

室蘭市 田尾会員

心理と教育コース卒業迄あと 4 単位となったところで、1 年間入院、今年の上期に再挑戦です。統計関係は吹っ飛んでしまい、選択科目は社会科学系にシフトしました。選科履修生の大学院文化科学研究科でも選択したのは「現代訴訟法」でした。

千歳市 星野会員

八十才を超えましたが、毎朝、児童見守りをやっています。本も良く読んでいます。

札幌市中央区 東海林会員

最近読んだ本は、少し前（2020年）に発行された『鎌田式「にもかかわらず」という生き方』（鎌田實 著）です。様々な逆境に直面しても「にもかかわらず」という言葉を大切にし、前を向いて生きることが重要だと書かれています。私は、逆境とはいえませんが、勉強がそれほど好きという訳でもない、時間がない、お金がない、頭が良くない、余裕がない、にもかかわらず、今も放送大学で学んでいます。

札幌市 庄子会員

北国に春が訪れました。自然は芽吹きと開花を加速しています。雪から解放された花々樹は一層美しく愛しい存在です。桜、しだれ柳も美しい中島公園に、初めて姉とその娘、義姉妹2人と行きました。天候にも恵まれて、各々が手慣れた食べ物を持ち寄り美味しく楽しい時間を過ごしました。

同窓会役員様ご尽力の同窓会便り、卒業を祝う会、研究発表会開催のご継続も感謝とつながりを育んでいると思います。

ありがとうございます。

函館市 岩島会員

福祉の資格を取り、何とか正職員として勤めています。高校生の時は、医療系の職業に就きたいと希望していましたが、家庭の事情で進学はかなわず、あきらめました。

先日、今の自分でもがんばれば取得できそうな資格（医療系）を知り、挑戦してみようと思い、この4月に科目履修生として放送大学に再入学しました。放送大学を知っていたおかげで、まよわずに新しいことに挑戦することができました。

札幌市豊平区 菅原会員

あいにくすでに別用務予定が入っており参加できません。

ご参会の皆様のみますのご健勝を祈念しております。

札幌市北区 高桑会員

当日 地域の社会福祉協議会の総会がありますので 山田先生の講演のみ参加する予定にしています

南幌町 鈴木会員

4 コース目を始め、1 学期に 1 科目ずつの予定なので、先は長いです。まずは、健康でいなければならないと思う日々です。

千歳市 村田会員

皆様いかがお過ごしでしょうか？私自身は皆様とともに学んだ日々をなつかしみながら日々仕事に励んでおります。日々の業務の中で生涯にわたり学び続ける事の大切さを実感しております。今後も当時の経験を糧に、新たな挑戦を続けてまいります。

札幌市西区 富田会員

情報コース 4 年目 サークルパソコン学び隊に夫と 2 人で参加するのが楽しみで学習センターに通っています。

当別町 曾川会員

放送大学に入学して今年度から 1 2 年目にはいります。只今 4 コース目の終盤です。残りの 2 コースは、苦手科目なので、続けるかどうか迷っているところです。

幕別町 馬淵会員

昨年 9 月の放送大学帯広学友会に出席させて頂きました
今年も色々な学びを、楽しみにしております

岩見沢市 前田会員

同窓会役員の皆様、お世話にいつもなっています。2025 年度の第 2 学期は、①町内会長の代理になったこと（会長が辞めたため）、②自分で初めて手術と入院を経験したこと、③母の入院、死去、喪主として葬儀や法事の執り行いを、会社勤めの傍ら、しました。殆ど学習するための時間がなくて、単位の修得も進みませんでした。現在 4 コース目ですが、挫折寸前。2026 年度の第 1 学期が始まりましたが、元のペースに戻れず、苦労しています。

札幌市北区 佐藤会員

参加したい気持ちでいしましたが、都合により欠席させていただきます。連絡が遅くなり申し訳ありません。皆様の健康と、学ぶ心を持ち、継続の力を、共に持ち続けて行けたらと願っています。

札幌市厚別区 柴田会員

継続入学 2 年目です。2 学期より別コースで頑張ります。

札幌市清田区 野村会員

特に変わりなく、すごしております。

別海町 清水会員

今年も選科履修生です。「学び続けること」の意義を考えています。(85 歳になります)

札幌市厚別区 渡辺会員

拝啓 桜も満開の春うらかな日々をお過ごしのことと思います。親睦会役員の皆様におかれましては、益々ご活躍の事とお喜び申し上げます。

私も初心に帰り、知識の向上に努めていきたいと思っています。そして又、機会がありましたら皆様と放送大学のキャンパスで一緒に学べたらと自分ながらに思っております。

敬具

札幌市中央区 金加会員

眼をいためていますので乱筆にて失礼いたします。

年かさね人生道を歩み来て 心はげまし道たずねゆく

中根会長、幹事の皆様ありがとうございます。仕事を終えて、長くきびしかった身内の介護と、60 歳で入学した放送大学を終了して、間もなく病気になり、医療を受けています。引きこもりをさけて社会に学び、病友会で助けられ、自立につとめて、生かされて思い出をむねに感謝して年かさね 90 才になります。

札幌市北区 遠藤会員

毎日のウォーキング（10 分程度のジョギング含む）で元気しています。

石狩市 竹内会員

いつもご連絡をいただき、ありがとうございます。定期総会は、予定が入っているため、申し訳ありませんが欠席させていただきます。

今年は昭和元年(1926 年)から数えて「昭和 100 年」になるそうです。私は昭和の人ですが、100 年ってすごいですね。放送大学の「全科履修生」として、色々な教科を学んでいきたいと思っています。

札幌市南区 佐藤会員

最近、現在の履修コースを変更しました。またまたのんびり学習を続けていきたいと
思います。3 コース目卒業は、だいぶ先になりそうです。

虻田郡倶知安町 櫻庭会員

役員みなさま、いつもありがとうございます。欠席で申し訳ありません。
よろしくお願いいたします。今年も暑さが厳しそうです。ご自愛ください。

帯広市 中島会員

同窓会員の皆様、いつもご苦勞様です。私は両股関節の骨頭壊死の為に人工骨頭が入
って、日常も車椅子の生活になってしまいました。それで今学期は何も授業は取れませ
んが、来学期からは一科目でもと思っております。

生活と福祉に始まり、人間と文化を卒業いたしまして、今は心理と教育に入りました。
もう止めようかと思いつつも、皆様の向学に燃える心に押されるように頑張っていきたい
と思っています。よろしくお願いいたします。

恵庭市 平野会員

北海道大学付属図書館で雑誌受入を担当しています。

虻田郡洞爺湖町 藤川会員

足に痛みがあり、湿布を貼って仕事に行っている状況です。お忙しいなか、いつもお
手紙をいただきありがとうございます！

新入生の皆様へ 大変とは思いますが、いつか卒業できる日が来るはずですので、頑
張ってください。私は高齢になってから入学しましたが、10 年 かかって卒業という日
を迎えることができました。お世話になった皆様に感謝です！

上川郡清水町 中河会員

令和 8 年度の総会開催、中根会長はじめ役員みなさまに感謝いたします。放送大学
で学ぶ事ができ、今も引き続き「学ぶ」という事を楽しく継続していますが、これは死
ぬまで続くと思います。誰でもが望めば学習できる放送大学という場を作ってくださり
有難うございます。又、22 年も継続している同窓会を運営していただいている役員の
皆様、本当に有難うございます。

釧路市 継枝会員

特に変わりなく、来年は出席を考えております。

江別市 成田会員

田植え作業が真っ盛りのため欠席します。人手不足のため代替者も見つけれず、農作業を優先させてもらいました。幸齢者として農業手伝いは今年も元気に頑張っていきたいと思います。総会がご盛会でありますようお願い申し上げます。

札幌市南区 藪崎会員

私は 5/13～5/17 日迄、所用で東京に行っておりますので、総会・懇親会には出席できませんが、盛会を祈念しております。

尚、私事でございますが、お陰様で元気にしております。特に早朝ウォーキングを日課として、近くの真駒内公園を毎日 1 万歩以上、風景を楽しみながら、散歩しております。まだ遠くの山に残雪が見えますが、公園の桜の蕾も膨らみ始め、季節の変わり目を感じる今日この頃です。

札幌市中央区 阿部会員

役員みなさま、お元気でしょうか？

役員みなさまは定期総会などの準備でお忙しいでしょうが、くれぐれもお身体には十分御自愛されてお過ごしください。よろしくお願いいたします。

札幌市中央区 駒澤会員

御連絡ありがとうございます。あいかわらず忙しくしております。

平均寿命まであと 2 年。頑張りましょう。

札幌市北区 片寄会員

お世話になっております。仕事と重なっており、欠席させていただきます。申し訳ございません。

江別市 澤井会員

お疲れ様です！今思えば、コロナ騒動下で 2 度目の卒業式を経て以来 5 年になります。本学で修得した知見もあってか、今も業界で後進の教示に努めているところです。

恵庭市 小笠原会員

今年の 3 月末で定年退職し、充電中。心身の健康を維持できる程度には働きたいと模索しています。

***以上は令和 8 年（2025）年度定期総会返信ハガキの近況から掲載しました。**

第 22 回 放送大学研究発表会の開催について

放送大学研究発表会実行委員長 熊谷 寿二

9月19日（土）午後13時から第22回 放送大学研究発表会を開催いたします。

研究発表会は、同窓会と学友会、学習センター、学生サークルなどが連携して学生の研究発表の場として毎年1回定期的に行っているものです。今年は放送大学北海道学習センター（旭川）客員教授の石塚博規先生をお迎えし「AIが変える教育 ―英語教育を例に―」をテーマに、AI開発の歴史から最新の状況について記念講演をしていただきます。さらに研究発表として、今年3月に修了・卒業した目黒靖浩さん、星野未羽さんのお二人に研究テーマに関する発表をしていただきます。放送大学で学んだお二人の研究成果をできるだけ多くの方に知っていただく場であり、同時に広く学びの場を提供する機会でもあります。

北海道学習センターで開催いたします、ぜひ会場まで足を運んでいただき参加していただくようお願いいたします。また遠方にお住まいの方がZoomにより参加することもできるよう準備を進めているところです。多くの同窓生、学生の皆さまの参加をお待ちしております。

開 催 予 告

第 22 回 放送大学研究発表会

令和8(2026)年9月19日（土）午後1時から

記念講演：石塚博規先生

AIが変える教育 ―英語教育を例に―

放送大学北海道学習センター（旭川）客員教授

北海道教育大学名誉教授

発表1 星野未羽氏 教養学部 心理と教育コース卒業

発表2 目黒靖浩氏 大学院文化科学研究科修士課程修了

第22回放送大学研究発表会実行委員会
札幌市北区北17条西8丁目 放送大学北海道学習センター内

お問合せ
フォーム



<https://forms.gle/NNgk5NTHsuzRdKqQ8>

第 17 回放送大学北海道学習センター文化祭

実行委員長 高桑昌子

9月4日(金) ～ 9月6日(日)開催!!

「つながる学び、ひろがる世界 Your next story begins」

のキャッチフレーズで準備中です。

講演会 9月5日 13:00 濱田淳一客員教授（腫瘍生物学）決定!!
面接授業のコンパクト版の内容をお話していただきます。

イベント企画は面白いものが沢山あります。

「コース別雑談会」 参加者募集中 6コース別に雑談をするもの
「手作りプラネタリウム」 段ボール製のプラネタリウムを
組み立てて星空を観測（直径約 3M）

「手芸」お手玉作り

「自学発表 文化祭バージョン」

ステージ発表 9月5日 15:00～（講演会後）

- ・北大落語研究会（古典落語） ・うたの会（合唱）
- ・フランス語サークル（シャンソン 朗読）
- ・宮沢賢治作品朗読「いちじょうの実」など

個人作品発表 例年以上の多くの方の展示発表があります。

バザーは9月5日予定 バザーに提供する品の用意をお願いします。

映画会は交渉中!!

私が学友会会長の頃、有望・有能な人たちを学友会役員に確保し、秘かに自画自賛していました。時間の経過とともに数人の方が健康を害してしまい、活動する人が少なくなり文化祭実行委員長のお役目が回ってきました。幸いに、協力して頂ける方々、若い方々の協力もあり、洗練されたちらし、バーチャルキャンパスの活用など、ここ数年の発展は素晴らしいものがあります。順調に準備されていますので、皆さまの文化祭への参加、ご協力をお願いします。

文化祭専用ホームページ



文化祭ニュース イベント情報(予定)

ステージ発表

9月5日(土) 15:00~16:45

於:6階大講義室



「古典落語」

By 北大落語研究会

宮沢賢治作品 朗読

「いちょうの実」

自然の営みと命のつながり、
そして別れのさみしさと新しい
世界への希望が重なり合い、
静かで暖かな余韻を残します。

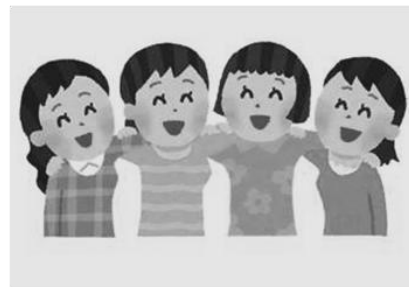


「シャンソン朗読」

By フランス語サークル

「合唱」

By うたの会



実会場イベント

9月4日～6日（開催日時 場所は予定）



「千ク千ク ほっこい」

於:小講義室(予定) 日時:9月4日(金)
去年も好評だった布小物を作ります。
今年は お手玉 手ぶらで参加 OK

「手作りプラネタリウムで星を見よう！」

於:中講義室
日時:9月5日(土)10:00～ 組立イベント
5日～6日 随時 映写会
手作りプラネタリウム(段ボール製)を
組み立てて星空を観察します。
お子様の参加も大歓迎です。(約2時間)

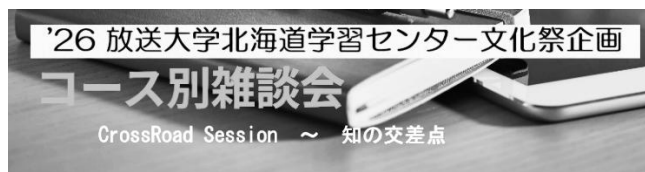


「自学発表会」

By 自学発表サークル
於:6階会議室(予定)
日時:9月6日 10:00～12:00
テーマは自由、自分で調べたことを発表する会です
発表者募集中

「コース別雑談会」

於:6階実習室
日時:調整中



「VR 体験会」 By VR研究会

於:6階小講義室
日時:9月5日6日
VR ゴーグル体験 3D プリンター実演

同窓会の社会貢献コーナー

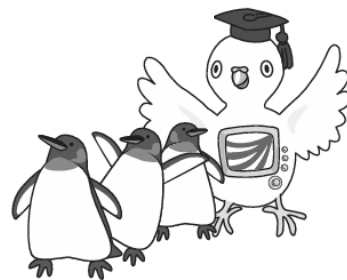
海岸清掃活動について

北海道同窓会が NPO 法人北海道海浜美化をすすめる会の活動に協力してから 20 年が経過しました。今年 2 月に北海道地域知事貢献賞(知事賞)を同団体が受賞し、我が同窓会としても共に受賞の喜びを分かち合いました。



令和 8 年(2026)度の活動は 5 月 10 石狩市浜益地区毘砂別海岸の清掃からスタートしました。海岸は砂浜で 3 月から 5 月はサクラマス、9 月から 10 月は鮭が遡上する毘砂別川河口があり、例年は海岸漂着物だけではなく釣り人のポイ捨てゴミも散乱していましたが、今年は去年、熊が出没して立ち入り禁止となったため、海ごみプラスチックが殆どでした。参加者は 20 名ほどの少人数でしたが約 2 時間でほぼ清掃でき、370Kg の漂着物を回収しました。作業終了後は恒例の豚汁に舌鼓を打ち、昼食後は浜益温泉で汗を流して帰路につきました。

6 月 28 日洞爺湖町の海岸清掃では、30 名参加予定です。
地球環境を今日も守りに行きます!!





放送大学 学生サークル



♪ うたの会

♪ **みんなと歌って
を強化しよう!!**



喉と肺の筋肉

うたの会は、ローレライ、花、紅葉など愛唱歌を楽しむ学生サークルです。
放送大学学歌や道・放大生賛歌、揚げば尊し、喜びの歌なども歌います。 英語・ドイツ語・
ロシア語など原語でも歌います。合唱の先生が鍛えててくれます。

会の目的： 豊かな人生の糧として、うたを通して広い文化活動を楽しむ。

会費：年会費 千円
会場：大講義室（6 階）
定例会：第 1 水曜日、10：30

行事への参加

・ 入学者の集いへの出演

親睦会：6・12 月

定例会後（昼食会）

ご一緒にうたいませんか？

**入会をお待ち
しています。**

歌うことは肺の機能を高め、脳を刺激する・のどの筋肉を強化し誤嚥防止
放大生の健康増進に役立ちます!! 合唱 は 運動だ !!

指導者は早坂美彦先生練習後は学食で懇談も

楽譜はカタカナ付き発音はみんなで練習

う た の 会 代 表 中根 恵美子

連絡先 携帯電話 090-2058-4453 電話・FAX：011-215-8468

email juukichi1949@gmail.com

会費納入と新入会員募集のお知らせ

令和 8(2026)年度の継続会員の方は、今年度の年会費 1,000 円を下記口座へお振り込みくださるようご協力をお願いします。また、同窓生の中で同窓会に入会していない方がおられましたら、入会をおすすめくださるようお願いいたします。

入会を希望される方は、郵便振替用紙に「氏名、〒、住所、電話番号、卒業年月、コース等」をご記入の上、入会金 1,000 円、年会費(初年度)1,000 円を下記口座へご送金ください。(次年度以降は年会費のみとなります。)また、70 歳以上の方は、1 万円で終身会員となります。

ゆうちょ口座名 放送大学北海道同窓会
口座番号 02740-0-37725

放送大学を宣伝してください！

皆さんの『ロコミ』で、放送大学に入学して良かったと思うことを、大勢の方々に知らせてください。

入学等に関する問合せ先

放送大学北海道学習センター

TEL 011-736-6318

「会員の声・読者の声」募集中！

現在、会員や読者の皆さんの声を募集しております。皆さんの近況や会報へのご感想、ご意見がございましたら、是非、お寄せください。

(宛 先) 〒060-0817

札幌市北区北 17 条西 8 丁目 北海道大学構内

放送大学北海道学習センター 気付

放送大学北海道同窓会

学習センター事務室内ポストに直接投函可

FAX :011-215-8468 中根

e-mail : juukichi1949@gmail.com

新入会員のご紹介！！(敬称略・順不同)

令和 7 年度第 2 学期卒業・修了生

(院)目黒 靖浩

(生)土屋 春美

(生)清水 恭子

(心)斉藤 和也

(心)佐藤 結香

(生)人見 純子

(人)野村 渉伍

(心)大原 美奈子

(人)緑川 登志子

〒・住所・電話番号などの変更のときは、
必ず、ご連絡をお願いいたします。

編集後記 3 月末に司会として「修了・卒業を祝う会」に久しぶりに参加いたしました。希望に満ちた修了生卒業生のきらきらした眼差しに接して、10 数年前に自分が卒業した時の祝う会のことを思い出しました。先輩方のお祝いの言葉や合唱、お赤飯や紅白まんじゅうが嬉しくて食べずに大切に持ち帰ったこと、いつでもいくつになっても新たなチャレンジを始められるという希望が蘇りました。

祝う会では、北海道の放大学生へ向けた「放送大学北海道学生賛歌」も歌われました。学生賛歌を持つセンターは全国でも珍しいそうです。

「みどりの大地のその中にひっそりとたたずむ学び舎、厳しい自然を生き抜く知恵と未来を拓く勇気ある魂、北の大地に育まれた我ら放大学生(1 番)」という歌を、皆さんも耳にしたことがあるかと思います。北海道は広く自然環境も違いますが「ともに歩む希望の光(2 番より)」を胸に一人一人が頑張る姿が思い浮かぶ素晴らしい賛歌だと感じました。

今回、初めて編集委員として発行に携わらせていただきました。会報には、同窓会を支えてくださる皆様の応援の言葉がぎゅっと詰まっていることを再認識いたしました。今号も多くの方のご協力があり、無事に発行することができました。ありがとうございました。(大内)